

JAだよりおおがき

30gata

3

MARCH
2012 No.464

特集

災害多発時代を生き残るには？ 4面



● 今月号の主な内容

2面 フォトニュース (女性部座談会ほか)

6面 営農だより・女性部活動だより

7面 インフォメーション・理事会報告

8面 未来を担う子どもたち・食のはなし (長ネギ)



女性たちとの連携を確認

J Aと女性部との座談会

J Aと女性部は2月3日、J A会館和室を会場に座談会を開き、小林肇組合長と生活課職員が女性たちと意見交換を行いました。

この座談会は、女性の意見をJ A事業に活かしていくため毎年行っているもので、開会に際し組合長がJ Aを取り巻く社会情勢について説明。抱える課題と展望を述べ、さらなる連携を呼びかけました。その後の意見交換では、接客や駐車場事情、自販機の実績、加工センター活用方法など、女性部らしく日ごろ利用する頻度の高い生活課についての意見をはじめとし、女性理事、湖東病院存続、原発関連、禁煙・石鹼運動など、実生活に密接に関わるものが多く寄せられ、今後のJ A事業に大きく寄与する話し合いとなりました。



部員21名が参加し、日ごろの思いを声にした

専門家と一緒に疑問解消

年金個別相談会

金融課では2月10日、J A会館小会議室を会場に、年金の受給を間近に控えた方や現在受給中の方を対象とした無料相談会を行いました。

この相談会は、複雑で面倒なイメージのある年金についての疑問や不安を解消してもらおうと毎年夏と冬に行っているもので、この日は2人の社会保険労務士が対応。一人ひとりの事情に合わせた個別相談方式に、参加者からは「とてもわかりやすかった」「疑問をすべて相談できた」などの声が寄せられました。変化する社会情勢の中、年金への不安や疑問を抱える方も多く、年金手帳や証書などを手に、納得のいくまで質問を繰り返していました。



年金の不安や疑問は一人ひとり違います

多彩な品種と作品で魅力紹介

「ポルダリーリップウエーブ」

花き栽培部会O.F.S（大潟村フラワーグロウイングセクション）は2月10〜12日、村教育委員会とともにチューリップ作品展「ポルダリーリップウエーブ2012」を開催。会場の大潟村千拓博物館には、会員が育てた46品種三千本の切り花をはじめ、村内作家による生け花や押し花などの作品を展示し、その魅力を広く紹介しました。

「ポルダリーリップ」は、東北一の栽培数を誇る大潟村産チューリップの愛称で、少量多品種栽培が特徴。この作品展は、大潟村産チューリップの認知度向上と地域活性化を目的に2004年から行っているもので、展示のほか、品種の人気投票や栽培ハウス見学ツアーを実施し生産者と消費者との交流を図っています。会場内には秋田県美術工芸短期大学の学生による記念撮影コーナーも設置し、来場者の人気を集めていました。

また、11・12日には「道の駅おがた」で産直まつりが行われ、チューリップ切り花や特産品などを買い求める人でにぎわいました。



珍しい品種がズラリ並んだ切り花展示



生け花体験で真剣な表情の子どもたち



押し花体験。素敵なポストカード完成！



多彩なチューリップ作品にうっとり

24年度の概要を説明

戸別所得補償制度説

大潟村地域農業再生協議会（村・JA・カントリー公社）は2月16日、ホテルサンルール大潟を会場に、平成24年度の戸別所得補償制度に係る説明会を実施しました。

この説明会は、2月20～29日の生産調整参加受付を前に行われたもので、東北農政局職員をアドバイザーに迎え、村担当職員が24年度の内容を説明。面積配分や産地資金などに変更があるものの、概ね昨年並みの内容に、参加者は熱心に聞き入っていました。また、併せて行われた補助金関係の説明については、「もっと詳しく説明してほしい」「予定する事業があるが対象となるかなど、多くの質問が寄せられていました。



説明に聞き入る参加者

新製品や話題の品ズバリ

自動車・農機展示会

整備課は2月16・17日に自動車と農機の展示会を開催し、春の需要期を前に多くの農家が会場を訪れました。

整備工場前で実施した自動車展示は、農家の必需品である軽トラックをはじめ、話題の「100%電気自動車」や各種エコカーがズバリ。試乗車もあり、来場者の関心を集めていました。販売倉庫で実施した農機展示は、各メーカー自慢の製品が所狭しと並び、担当者の説明を聞く農家で賑わっていました。



↑メーカーによる商品説明（農機会場）
今話題の電気自動車も（自動車会場）→

若妻部創立30周年

祝賀会で節目祝う

創立30周年を迎えた若妻部（会）は2月24日、23年度の総会終了後にホテルサンルール大潟で祝賀会を開催。部員や歴代役員など54名が参加し節目を祝いました。

若妻部の創立は昭和57年。婦人部（現在の女性部）の専門部のひとつだった組織が独立し発足したもので、創立以来、交流と学習の機会を多く設け仲間づくりに努めてきました。

小さな子ども連れの部員に配慮し、和室でカジュアルな雰囲気で行われた祝賀会。参加者は食事やゲームなどを楽しみながら、思い出話に花を咲かせていました。

※総会の模様は4月号に掲載いたします。



余興で行われた「スリッパリレー」を楽しむ部員

集いの場で一日をゆったり

ゆずり葉「地域の茶の間」

女性部の組織「ゆずり葉」は、2月28日、西2丁目児童館を会場に今年度3回目の「地域の茶の間」を開きました。

「ゆずり葉」は、JAのヘルパー養成事業で資格を取得した人を中心とした組織。この催しは地域のお年寄りに楽しく自由に過ごせる場を提供しようと年3回行っているものです。この日は、血圧測定に始まり、保健運動指導士・児玉美幸氏によるお話、村の成り立ちを描いた「新生の大地」のDVD鑑賞を実施。疲れたら横になったりお茶を飲んだり自由に過ごしても良く、参加者は自分のペースで冬の一日を楽しんでいました。



児玉美幸氏のお話を聞く参加者

東日本大震災から1年

災害多発時代を生き残るには？

東日本大震災から間もなく1年を迎えます。この震災は、その後の原発事故の問題も含め、被災地はもちろん日本全体の経済や生活に影響を及ぼしています。この震災はどのような災害だったのか、現地では何が起きていたのかをあらためて検証し、学ぶべきことをお伝えできればと思います。

災害危機管理アドバイザー 和田隆昌

東日本大震災を振り返る
何が起き、日本はこの後どうなるのか

あのとき、何が起こったのか。実際、震災の数日前から宮城県沖では地震が多発していました。震源地は過去多くの津波地震を発生させている場所。明治三陸地震（1896年）では東日本大震災とほぼ同じ死者・行方不明者約2万人、昭和に起きた地震（1933年）で発生した津波でも約3000人の死者・行方不明者が出ています。そして多くの地震学者がこの30年での巨大地震の発生確率をほぼ100%に近い数字で予測していた場所でもあります。当然、気象庁も政府機関も警戒はしていましたし、地元でも十分な対策はなされていたはずでした。では、なぜ「分かった」場所であったにもかかわらず、これだけの被害が生じてしまったのか。

東日本大震災と同等規模の地震は再度「必ず」やって来ます。統計上、日本周辺は地震活動の多発時期に入ったといわれています。内陸部に入らないときなのです。

撮影:和田隆昌



何度も繰り返される悲劇。私たちに災害から逃れるすべはないのでしょうか。今こそ活発な議論がなされるべきです

住む人も他人事ではありません。日本国に住んでいる以上、地震被害を受けたい場所はありません。まず、自分の住む場所にどんなリスクがあるのかを、もう一度見直すことから始めましょう。

人はなぜ「自分だけは大丈夫」と思うのか
避難せずに被災してしまいう理由

大きな自然災害の警報を耳にしたとき、人間は「自分だけは大丈夫」「大したことはない」など、まったく根拠のない意識を持つ傾向があります。そのため市役所などの自治体が防災無線で避難を促したとしても、一向に避難行動に入らないという結果になります。自治体が発する「避難勧告」に先んじて「自主避難」するような例は、非常にまれです。それは自分にとって嫌なこと、面倒なことを意識から排除しようとする心理が働くからなのです。これは高齢者にも多くありがちな傾向で、東北の沿岸では、過去津波警報が何度も発せら

撮影:和田隆昌



れ、実際には被害を受けなかった記憶が、自分に都合良く残ってしまっていることも影響したようです。さらに「周囲が動くまでは何もしない」「近くに人がいるから大丈夫」と、集団行動を取ろうとする傾向もあります。「隣の家の人がまだ避難していないので、自分が先に逃げるのは恥ずかしかった」などの声もありました。災害時には、たとえ無駄になっても「早めの避難」のみが身を守るすべです。自分が避難することで周囲の避難行動を促し、より多くの命が救われるのだという意識に切り替えましょう。

命を守るための知恵 今日からできる家庭の災害対策

冒頭に記した通り、自然災害による被害には必ず「その場所」に応じたリスクの高低が存在します。東日本大震災では約2万人もの犠牲者が出ましたが、その多くは津波による犠牲者です。建物の倒壊による死亡事例は東北の被災地ではほとんど見られません。建築基準法の度重なる改正により、比較的新しい家屋の地震による全壊の可能性は極めて低いのです。個人でできる地震対策には、その優先順に(1)自分の住む地域の災害危険度を把握すること(2)家の安全性(耐震強度)を確かめること(3)寝室の安全性を高めること(4)安全な場所への避難経路を把握

し、実際に確かめること、などがあります。地震があっても、「津波の届かない」「安全な家」に住み、後は火災にさえ巻き込まれなければ、生命の危機に直面する可能性は非常に少ないといえます。「地震そのもので死ぬことはまずない」のですから「地震による2次災害に遭わないこと」こそ、最も必要な地震対策なのです。

災害対策というと、水や食料の備蓄さえすればいいと思いがちですがそれらは「命を守る」ことにはつながりません。まず、すぐに実行可能なことを別表にまとめました。

「生死を分ける」瞬間には、近所の人に関わっている例が数多く見受けられました。助け合う家族がその瞬間に一緒にいるとは限りません。自分の生活圏に住む人との「つながり」だ

被災者は誰に助けられたのか 生死を決めたのは「ご近所付き合ひ」

もしも大きな地震があつて、自分が動けなくなつてしまつたり、家や部屋に閉じ込められてしまつたときに、誰が助けに来てくれると思ひますか？ 警察ですか？ 消防隊ですか？ それとも自衛隊？ いずれもすぐには来てくれません。

阪神・淡路大震災では、倒壊した家屋の下から助けられた人の実に4分の3が「近所の人」によつて救出されています。東日本大震災でも

けが、生死の境にある自分を救う、唯一の手段だといつてもいいでしょう。本当に基本的なことですが、近所の人と日頃の「あいさつ」や「気遣い」をどれだけしているか、また地域で「被災者」になり得る人をどれだけ守つてあげられるかが、地震災害の被害者を減らすために最も有効な手段だといえるのです。

和田隆昌(わだ たかまさ)

災害危機管理アドバイザー。感染症により生死をさまよつたことをきっかけに「防災士」の資格を取り、災害や危機管理問題に積極的に取り組む。アウトドア関連雑誌の編集者を歴任。長年のアウトドア活動から、サバイバル術も得意。著書に『地震・津波の非常識』(フレイク社)など多数。全国での講演会の他、メディア出演も多い。

(別表) 今日からできる家庭の災害対策

1 地方自治体などの窓口で自分の住む地域のハザードマップを手に入れる。

ハザードマップは多くの自治体で入手可能です。自分の住む地域の危険な場所、自宅と避難場所との位置関係などを確認することができます。

2 自分の住む家屋の耐震強度を調べる。

特に1981年5月以前の建築物ですと、強度が著しく劣っている可能性があります。自治体から耐震改修の補助金が出る場合がありますので問い合わせてみましょう。

3 寝室の安全性を高める。

寝室にある家具は全て危険な凶器になり得ます。重量のある家具は必ず固定し、少なくとも自分に倒れてこない位置に移しましょう。夜間の停電に備えて、停電時に点灯する「保安灯」を寝室に用意しておく避難時に助かります。

4 避難経路を実際に歩いて確かめる。

自宅付近に災害(津波・火災)の危機が迫つたと感じたなら、事前に確かめておいた、自治体の指定する避難場所へすぐに移動します。年に1度は家族そろつて避難場所への経路を確かめることが必要です。



イラスト：服部新一郎

「ポルダールリップウェーブ2012」チューリップ人気投票結果発表！

2月11～13日に、花き栽培部会O.F.S（大潟村フラワーグローイングセクション）と教育委員会の主催で行われたチューリップ展示会「ポルダールリップウェーブ2012」。今回の営農だよりでは、会場内で行った「チューリップ人気投票」の結果についてお知らせいたします。

※得票数は、3位まで選んでいたいただいた総合計が多い順となっています。紹介文は展示会場に掲示してあったものを掲載しました。

第1位「マリリン」328票



花色：赤と白
花型：ユリ咲き

白地に赤のストライプと「マリリン・モントロー」のようなボリューム感が魅力です。そのスタイルには、男性のみならず女性も目がくぎづけ。

第2位「バレリーナ」325票



花色：オレンジ
花型：ユリ咲き

チューリップには珍しい「香り」と、スレンダーな容姿から大ブームを巻き起こしました。その人気は今でも変わりません。

第3位 「ピンクパンサー」 239票



花色：ピンク
花型：パーロット咲き

有名な「ピンクのヒョウ」と名前が同じで、別名「ダイヤモンドパーロット」とも言われている品種です。どちらの名前も宝石を思わせます。

第4位「アンジェリケ」203票



花色：ピンクと白
花型：八重咲き

咲いた時のピンクの色彩とボリューム感は、つぼみの姿とは一変します。「好きなチューリップ」のアンケートでは人気上位の常連です。

第5位「カプリ」198票



花色：赤
花型：一重咲き

鮮やかな赤色が特徴で、日本では「最もチューリップらしいチューリップ」とも言われています。花持ちの良さからも、花屋さんに人気です。

ユリ咲き品種に人気の集中した昨年に比べ、今年はさまざまな花型がまんべんなく人気を集めました。定番品種から新品種まで多彩な顔ぶれです。

第332号

女性部「活動だより」

各委員会からの報告事項などについてお知らせいたします。

★各委員会からの報告

●JA全国女性大会（1月24・25日）

第57回JA全国女性大会が東京都・日本教育会館で行われました。女性部の活動事例の発表があり、高知県では消費者との交流を深める活動、岐阜県ではJA役員と語る会を開いているなど。

全国では女性理事が833人になっているそうです。秋田県内でも女性理事がいないのはJA大潟村とJAうごだけだそうです。各地区では女性理事を増やすために、女性大学等の学習会を催し、女性のレベルアップを図っているとのことでした。（三村敏子記）

●ふるさと祭り（2月5日）

ホテルサンルーラル大潟を会場に行われた「ふるさと祭り」に参加しました。毎年、うどんと甘酒をふるまっておりますが、去年お客様から「米粉うどんですか？」と聞かれたのをきっかけに、村の食材である米粉うどんに決定。ただし予算上甘酒はカットしました。当日は天候にも恵まれ、お店は10時に開店して1時間ほどですべて終了。無料なので早々の店じまいでし

た。手伝ってくれた班長さん方と昼食を囲んで、総会に向けての要望などを話し合い、今年度最後の楽しい集いが終わりました。（芹田妙子記）

●村長との懇談会（2月14日）

女性部（婦人会）3名、若妻部（会）5名、青年部1名、青年会1名の参加で、村長との懇談会が開かれました。村長のお話につき、参加者からは日頃思っている意見や要望などが出され、それに対して答えていただきました。とてもよい話し合いの時間でした。次回の開催時には、皆さんもぜひご参加ください。（伊藤百合子記）

●大潟土地改良区役員報酬審議委員会（2月16日）

24年度の役員報酬について委員7名で話し合いました。今回の協議は「理事会、各委員会等の内部関係の費用弁償廃止に伴う費用弁償分を勘案する」でした。役員報酬を上げるとか下げるとかいうことではなくて、国からの指導により、費用弁償を廃止するようにということで、費用弁償は廃止して費用弁償分が報酬に入ることになりました。（三村敏子記）

あぐりプラザ「携帯クーポン」のご案内

J A大潟村のホームページをご覧の皆様へ、「あぐりプラザポイントカード」のポイントがお得にたまる「携帯用クーポン」を発行しております。携帯電話からホームページに掲載のバーコードにアクセスいただき、表示された画面をレジにてご提示いただくと、通常の2～3倍のポイントを加算させていただきます。このクーポンは毎月1～3回発行していますが、発行日は不定期ですので随時ホームページのチェックをお願いします。お得なポイントクーポンを是非ご利用ください。

- ※クーポンに示された期日のみご利用できます。
- ※表示されたクーポンを“画面メモ”などに保存してご利用ください。
- ※お会計の際にレジ係へクーポンをご提示ください。

バーコード見本



お問い合わせは生活課（45-2214）まで。

「米粉で作ったケーキ」の販売について

J A大潟村ではこのたび、「大潟村産の米粉で作ったケーキ」を商品化し、3月2日よりあぐりプラザにて販売しております。大潟村加工センターにおいて、小麦粉・膨張剤・防腐剤を一切使わずに作りました。ご家族の団らんのお供に、お土産に、ぜひご利用ください。なお、価格は1個480円（税込）です。



お問い合わせは生活課（45-2214）まで。

理事会報告

2月27日開催

報告事項

- ・業務報告（1月末事業実績等）
- ・農家経営改善対策委員会報告
- ・コンプライアンス委員会報告
- ・平成23年度第3四半期における「相談・苦情等対応」の定期報告について
- ・平成23年度第3四半期における「自主検査報告書」の点検結果等について
- ・平成23年度第3四半期における連続職場離脱に関する実施状況等について
- ・平成23年度第3四半期「全般統制・不祥事未然防止行動計画」の評価結果等について
- ・平成23年度「個人情報保護に関する自主検査チェックリスト」の結果報告並びに「個人情報保護に関する自主検査報告書」について
- ・自主検査要領の一部改正について

- ・自主検査実施計画書の一部改正について
- ・自主検査実施報告書・チェックリストの全面改正について
- ・個人情報保護に関する自主検査要領の一部改正について
- ・個人情報保護に関する自主検査チェックリストの廃止について
- ・個人情報保護に関する内部監査細則の一部改正について
- ・個人情報保護に関する内部監査チェックリストの廃止について
- ・職務権限表の一部改正について
- ・貸付金利率表の一部改正について
- ・秋田県中央会における無通告実査報告
- ・秋田県常例検査における検査指摘事項に対する改善状況等の報告

議案

- 第77号 平成24年度内部監査計画について
- 第78号 譲渡契約書について
- 第79号 購買事業利用高に対する還元について
- 第80号 座談会の開催について
- 第81号 貸付金について

協議事項

- 平成24年度事業計画（案）について

編集後記

めでたく創立30周年を迎えた若妻部。その記念祝賀会にお邪魔しましたが、部員の皆さんや歴代役員の皆さんと一緒に楽しいひと時を過ごすうち、ふと思い出したことがあります。それは、10年前の「創立20周年記念」の時も私が取材に伺ったということです。広報担当になって間もない頃。華やかな場に恐縮していた自分の姿を鮮明に思い出すと同時に、10年が経ったという事実、驚きと感動を隠せませんでした。

子育て真っ只中の若妻世代には、この先10年はもっと短く感じられるに違いありません。私もちょうど(?)彼女たちと同世代。早く過ぎる時間の中、どれほどのことができるのか。若妻部のさらなる発展を願うとともに、自分の10年後を思わずにはいられませんでした。(mi)

J A大潟村の概況 24年2月末現在

貯金 … 230億8,029万円 正組合員数 …… 1,172名
貸出金 … 107億5,692万円 准組合員数 …… 31名
出資金 … 8億7,705万円

※2月号に誤りがありました。「23年11月末現在」は、正しくは「24年1月末現在」です。ここに訂正してお詫び申し上げます。



今月の表紙 (写真上から)

- ①めでたく30周年を迎えた若妻部。祝賀会はカジュアルな雰囲気で行われました（記事3面に掲載）。
- ②チューリップ作品展の会場に設置された記念撮影コーナーは美術工芸短大の学生によるもの（記事2面に掲載）。
- ③西2丁目児童館での「地域の茶の間」。冬の一日を楽しく過ごしました（記事3面に掲載）。



No.170



初めての **お誕生日おめでとう!!**



ゆうま
寺田 悠真ちゃん

いろいろなことに興味があってきて、得意のハイハイでどこへでも行くよ。あまり暴走すると怪我をするので安全運転でお願いね。

これからも家族みんなで悠真の成長を見守ってくからね。



かれん
鈴木 香蓮ちゃん

動物が大好きな香蓮。最近上手になったあんよでいなくなったと思えば、窓越しに愛犬となにやらお喋り！ナデナデしてはいい笑顔（＾＾）春になったら一緒にお散歩に出かけようね♪

元気いっぱい大きくな～れっ！



ゆうと
渡部 佑隼ちゃん

みんなの人気者ゆうと♥
ボール遊びが大好き◎ 日中はソリでお散歩しているよ☆
お友達募集中↗ 見かけたら声をかけてね☆



いち は
佐藤 苺杷ちゃん

生まれてくるまでずっと男の子だと思っていたら、女の子だったので、家族みんなで大喜び!! やること、なすことは男の子みたいだけど、我が家の大切な「姫」です。お兄さんたちと仲良く、大きくなってね。

このコーナーに掲載希望の方はご連絡お待ちしております。TEL 45-2211 広報担当



長ネギ

●古くからの「薬用野菜」

ツンとした香りと辛味がアクセントのネギ。緑の部分を食べる葉ネギに対して、白い部分を食べるものを長ネギといい、白ネギ、根深ネギとも呼ばれています。古くから、関西では葉ネギ、関東では長ネギが好まれてきました。一年中出回りますが、寒さが厳しくなると、甘味が増し、柔らかくなります。

切ったときに、ツンとする成分はアリシンで、ニンニクやタマネギと共通のもの。この成分はビタミンB1の吸収を助け、疲労回復や消化・食欲増進、免疫活性、抗菌などの働きをする他、血行を良くし、体を温める作用があるので、風邪予防に効果的です。

選ぶときは、白くつややかで、葉との境がはっきりしているものが良品。保存の際は、泥付きなら泥を落とさず、袋のままか新聞紙に包んで冷暗所に。立てておくとより長持ちします。洗ってあるものは、適当な長さに切ってポリ袋に入れ、野菜室に入れます。小口切りしたものやみじん切りしたものは冷凍できます。凍ったまま加熱調理に使います。

Recipe

タラとネギの
グラタン

■材料 (2人分)

生タラ2切れ (200g)・ネギ1本 (100g)・カブ2個 (200g)・A (水200ml・スープのもと小さじ1/2)・B (ホワイトソース1/2缶 (約150g)・白みそ大さじ1強 (20g)・酒大さじ1)・粉チーズ大さじ2

■作り方 (1人分250kcal)

- (1) タラは半分に切ります。ネギは4～5cm長さの斜め切りにします。カブは茎を少し残して、4～6つ割りにし、皮をむきます。
- (2) 鍋にA、ネギ、カブを入れ、沸騰したらふたをして、中火で約5分煮ます。タラを入れてあくを取ります。ふたを取り、落としふたをして約5分、汁気がほとんどなくなるまで煮ます。
- (3) Bは合わせておきます。
- (4) (2)をグラタン皿に入れ、(3)を掛けます。粉チーズを掛けて、オーブントースターで約10分、おいしそうな焼き色が付くまで焼きます。



撮影：大井一範